

# 会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

令和 6 年 3 月

## 那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

【令和 6 年 2 月 2 6 日 (月)】

- |   |        |                           |       |    |
|---|--------|---------------------------|-------|----|
| 1 | 9:25～  | サステイナブル 2 1<br>議席番号 2 2 番 | 中村 芳隆 | 議員 |
| 2 | 10:50～ | シン・那須塩原<br>議席番号 7 番       | 森本 彰伸 | 議員 |
| 3 | 13:00～ | 志絆の会<br>議席番号 1 9 番        | 鈴木 伸彦 | 議員 |
| 4 | 14:25～ | 公明クラブ<br>議席番号 6 番         | 田村 正宏 | 議員 |
| 5 | 15:50～ | 敬清会<br>議席番号 1 8 番         | 大野 恭男 | 議員 |

受付番号	令和6年2月9日
第3号	午前 午後 4時13分受付 <del>午後</del>

令和 6年 2月 9日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

会派名 サステイナブル21

議席番号 22番 中村芳隆

## 会派代表質問通告書

令和6年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 令和6年度市政運営方針について	<p>昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会活動がコロナ前に戻りつつある中で、海外情勢の緊迫化によって国内のエネルギーをはじめとした、物価高騰など経済混乱の継続が懸念されます。そのような中、本市においては、転入者が転出者を上回る転入超過を6年間維持しております。</p> <p>渡辺市長は、この機を逃すことなく、移住定住人口や関係人口の増を目指し、地方分散の受け皿になる持続可能なまちとすため、「地方分散の受け皿」「那須塩原市のブランディング」「資源と経済の地域内循環」という3つの視点から市政運営に取り組むと考えておられます。</p> <p>「住んでいけば生き延びられる」那須塩原市の実現に向け、令和6年度の予算編成にあたっては、4つの重点推進テーマとしてニューノーマル(新たな社会)、デジタル・トランスフォーメーション、ゼロカーボン、県北拠点づくりを掲げ、これら4つの重点推進テーマ等に紐づく事業に優先的に予算付けを行いました。</p> <p>そこで市政運営に方針に掲げる施策についてお伺い致します。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(1) 那須塩原駅周辺まちづくりについて
	(2) 「2050 <small>サステナブル</small> Sustainable Vision 那須塩原
	～環境戦略実行宣言～」の推進について
	(3) シティブランディングについて
	(4) 道の駅「明治の森・黒磯」リニューアルオープンについて
	(5) 移住・定住促進について
	(6) こども家庭センターの設置について
	(7) 地域共生社会の推進について
	(8) 災害対応力の強化について
	(9) ふるさと寄付推進について
2. 令和6年度当初予算につい	令和6年度は、本市まちづくりの向こう5年間の総合的かつ基
て	本的な指針である「第2次那須塩原市総合計画 後期基本計画」
	の2年目となります。
	本計画において示された本市が目指す将来像の実現に向けた各
	施策の取組みが始まったところであり、今後、スピード感を持つ
	て先進的かつ付加価値の高い施策を推進する必要があります。
	予算編成にあたっては、持続可能な財政運営を確保しつつ、限
	られた財源を最大限に有効活用するため、後期基本計画の重点推
	進テーマ等に紐づく事業に優先的に予算付けをされております。
	令和6年度においても「住んでいけば生き延びられる」持続可
	能なまちづくりの実現に向け、取組んで行くことから伺います。
	(1) 一般会計歳入予算について
	(2) 一般会計歳出予算について

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(3) 基金残高について
	(4) 市債残高について

受付番号	令和6年2月13日
第4号	午前 11時05分受付 午後

令和6年2月13日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

会派名 シン・那須塩原

議席番号 7番 森本 彰伸

## 会派代表質問通告書

令和6年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。  
記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 令和6年度市政運営方針について	<p>渡辺美知太郎市長の2期目の任期も2年目に入ろうとする中、「第2次那須塩原市総合計画後期基本計画」も2年目となります。</p> <p>これまで、「住んでいけば生き延びられる那須塩原市」の実現に向け地方分散の受け皿となること、那須塩原市のブランディングの促進そして資源と経済の地域内循環などを進めてまいりました。</p> <p>そのために、様々な施策を行い一定の成果をあげてきていると評価をさせて頂いています。令和6年度はこれまでの施策を検証した上で、さらに具体的な取組が必要になると考えます。これまでの取組の成果を確実に回収し、市民生活をより豊かにしていくため、そしてこれからの取組により、さらに大きな成果をあげていくため、以下のことについてお伺いします。</p> <p>(1) 6年連続で続く転入超過の状況についての考えと対応について</p> <p>(2) 県北の拠点としての那須塩原駅周辺の開発と周辺自治体との繋がりについて</p> <p>(3) DX推進の中での新庁舎のコンセプトと市民の利便性向上について</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(4) 那須塩原市の現在の魅力と今後のブランディングについて
	て
	(5) 地方分散の受け皿となる持続可能なまちづくりと、ネイ
	チャーポジティブ・カーボンニュートラル・サーキュラーエ
	コノミーの関係について
	(6) 新設するこども家庭センターについて
	(7) 那須塩原市の災害対応力の強化について
	(8) 財源の確保としてのふるさと納税とガバメントクラウド
	ファンディングへの考え方について
2. 新たな幹線道路整備と本市	現在、那須塩原市内において、幹線道路の大規模な整備が進め
の発展に資する土地利用の	られております。国道4号バイパス「西那須野道路」、国道400号
考え方について	西赤田工区、県道西那須野那須線「黒磯那須バイパス」、同路線の
	遅沢橋を含む上中野地内の4車線化など、事業が調順に進捗して
	いるものと捉えております。
	さらに、県道西那須野那須線の未整備区間である都市計画道路
	3・3・9号産業通りについては、本市の県に対する重点要望箇
	所となっておりますが、県では今年度、交通量推計調査が完了し、
	予備設計が発注されたところと伺っており、いよいよ事業化の段
	階に入るものと期待をしております。
	当該路線は、野崎第二工業団地から市内の工業団地を経て那須
	町まで至る総延長約18 Kmに及ぶ広域的な幹線道路で、3つの
	インターチェンジにもアクセスする重要な路線であり、沿線の複
	数の工業・産業団地を結ぶ産業道路としての機能や、観光周遊道
	路としての機能、救急搬送や災害時の代替道路としての機能など、

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	多岐にわたる役割を担っております。
	このように当該路線の有効性については、既に共有の認識と捉
	えておりますが、さらに有効性を高めるために重要となるのは沿
	線の土地利用にあると考えます。
	未整備区間が整備された折には、その名の通り「産業通り」と
	して新たな産業団地なども設置し、県北一大産業地帯を形成する
	ことが可能であると期待するものであります。
	現在、本市では「将来の都市像」や「土地利用の方針」「都市計
	画の目標」を定める最上位計画「都市計画マスタープラン」の次
	期計画の策定作業中にあることから、今後の本市の発展を鑑み、
	以下のことについてお伺いします。
	(1) 整備中、整備予定の幹線道路の有効性と利活用への所見
	について
	(2) 沿線土地利用についての考え方について
	(3) 次期都市計画マスタープランの方針・進捗・スケジュー
	ルについて
	(4) 産業用地適地選定調査と産業用地適地基礎調査について
	(5) 都市計画道路3・3・9号産業通りの整備を見据えた、
	次期都市計画マスタープランへの土地利用の位置付けについ
	て

受付番号	令和6年2月13日
第5号	午前 11時58分受付 午後

令和 6年 2月13日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

会派名 志絆の会

議席番号 19番 鈴木伸彦

## 会派代表質問通告書

令和6年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 令和6年度那須塩原市市政運営方針について	<p>国の現在の状況は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会活動は戻りつつあるが、南海トラフ地震への懸念や東京一極集中の是正と地方分散の意識は継続しており、緊迫する海外情勢、能登半島地震など国内経済の混乱は継続したままである。また、気候変動による自然災害の頻発激甚化は農作物の安定供給に悪影響を及ぼし、少子化・高齢化や生産年齢人口の減少が地域経済の縮小をもたらしている。このような世情の中での令和6年度の市政運営方針について伺います。</p> <p>(1) 令和5年度の総括について伺います。</p> <p>① 市民レベルの経済的課題への対応としての各種の緊急支援の効果について</p> <p>② 子供たちの体力低下・不登校、高齢者のフレイル等の状況と対応について</p> <p>③ ニューノーマルにおける地域共生社会の推進の状況と課題について</p> <p>④ デジタル・トランスフォーメーション(DX)の進捗状況について</p>



質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	⑤ ゼロカーボン施策の進捗と課題について
	⑥ 県北拠点づくりにおける施策の効果と課題について
	⑦ スポーツコミッション設立後の現在の取組とビジョンについて
	⑧ 海外との連携事業のその後の動きについて
	⑨ 子育て支援・教育事業の成果等について
	(2) 令和6年度の主要施策について伺います。
	① 那須塩原駅周辺まちづくり基本計画策定における市民への情報提供について
	② ネイチャーポジティブ、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの具体的な施策、指標、工程について
	③ シティブランディングの戦略について
	④ 道の駅「明治の森・黒磯」の成果指標及び長期的な収支など財政面から見た指標・工程について
	⑤ 移住・定住促進の指標について
	⑥ こども家庭センターの設置における現状、課題、成果指標について
	⑦ 地域共生社会の推進における現状、課題、取り組む事業、成果指標について
	⑧ 災害対応力の強化についての現状と目標について

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 持続可能な行財政運営について	<p>本市の経常収支比率は僅かに改善されたが、依然として高い状況にある。既存事業の見直しと経常経費削減の取組状況について、今後はどのような方針で、どのような取組をしていくのか伺います。</p>
3. 本市の高齢化対策等について	<p>本市の高齢化は確実に進行しております。その現状を踏まえて以下の点について伺います。</p> <p>(1) 高齢者の移動手段や買い物弱者への対応はどのように考えているか</p> <p>(2) 農家の高齢化問題と後継者不足について市はどのように考えているか</p>

受付番号	令和6年2月6日
第1号	午前 9時23分受付 午後

令和6年2月6日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

会派名 公明クラブ

議席番号 6番 田村正宏

## 会派代表質問通告書

令和6年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 「関係人口」の創出・拡大について	<p>東京圏への人口の過度な集中を是正することが「地方創生」の最大の目標ですが、コロナ禍による一時的な抑制傾向を経て再び東京圏への一極集中が加速しています。本市は幸い転入超過が続いていますが、今後も活力を維持し、より持続可能性を高めるためには「人の奪い合いではなく人のシェア」による「関係人口」の創出・拡大が求められることから以下について伺います。</p> <p>(1) 地域特性に応じた戦略の強化について</p> <p>① 日本遺産を活用した関係人口創出と観光振興について</p> <p>② 国内外からの観光客を戦略的に誘致し関係人口増加を実現するためのDMO(観光地域づくり法人)との連携について</p> <p>③ 「ふるさと納税」による更なる関係人口の創出・拡大について</p> <p>④ 「なすしおばらファンクラブ」の現状と拡充について</p> <p>⑤ 農業の担い手の裾野拡大を目的とした「農的関係人口」の創出について</p> <p>⑥ 那須塩原駅周辺を二地域居住・多拠点居住のモデル地域</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	とする考えについて
	(2) 財源確保について
	① 安定的な財源確保のための法定外目的税について
	② 関係人口創出拡大のための補助金等について
2. SNS等を利用した子どもの	昨年発表された内閣府の調査によると、自分専用のスマートフ
スマートフォン等の不適切利用	オンを利用している割合は、小学生が64%、中学生が91%となっ
による性被害について	ています。近年は中学生や高校生だけでなく、低年齢層の児童に
	もインターネットの利用が広まり、SNS等をきっかけとした児
	童買春や児童ポルノ等の性被害に加え、殺人や誘拐等の重要犯罪
	も発生しています。また、最近では学校から配布される学習用タ
	ブレット端末による自撮りや盗撮による問題が全国的に発覚する
	など深刻な状況であることから以下について伺います。
	(1) スマートフォンや学習用タブレット端末における運用の
	現状と課題について
	(2) 未然防止のための対策について

受付番号	令和6年2月7日
第2号	午前 5時05分受付 午後

令和 6年 2月 7日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

会派名 敬清会

議席番号 18番 大野恭男

## 会派代表質問通告書

令和6年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 令和6年度市政運営方針及び当初予算について	<p>「第2次那須塩原市総合計画後期基本計画」が策定され、2年目を迎えようとしております。全国的に少子高齢化がさらに加速し、また、新型コロナウイルス感染症が昨年5月8日に、2類から5類となり、東京一極集中が再び加速しております。このような中、過去最大の予算規模540億円となる令和6年度一般会計当初予算が示されました。「住んでいれば生き延びられる」那須塩原市の実現に向け、3つの視点(地方分散の受け皿、那須塩原市のブランディング、資源と経済の地域内循環)から市政運営に取り組まれるということから以下の点について伺います。</p> <p>(1) 那須塩原市の現状と課題をどのように捉えているか伺います。</p> <p>(2) 「地方分散の受け皿」に紐付く主要事業や新規事業の内容と予算規模を伺います。</p> <p>(3) 「那須塩原市のブランディング」に紐付く主要事業や新規事業の内容と予算規模を伺います。</p> <p>(4) 「資源と経済の地域内循環」に紐付く主要事業や新規事業の内容と予算規模を伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 高齢者福祉事業について	<p data-bbox="638 241 1473 1115">           高齢者福祉事業は、市の重要な施策であります。団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年も目前にせまり、団塊ジュニア世代が高齢者（65歳）となる2040年まで20年を切っております。全国的に高齢者人口の増加と生産年齢人口の急速な減少により介護サービスの担い手不足、社会保障費の増大等、さまざまな問題が発生すると予測されております。那須塩原市においても2040年には5人に2人が高齢者（65歳）、5人に1人は後期高齢者（75歳以上）になると予測されております。このような中、基本理念に「いつまでも健やかにいきいきと、ともに幸せな未来を創るまち」と掲げた「第9期那須塩原市高齢者福祉計画」を基に、来年度、高齢者福祉事業に取り組まれることから、以下の点について伺います。         </p> <p data-bbox="638 1151 1473 1263">(1) 高齢者福祉事業の現状と課題をどのように捉えているか伺います。</p> <p data-bbox="638 1299 1473 1411">(2) 「第9期那須塩原市高齢者福祉計画」における介護サービス基盤整備の予定を伺います。</p> <p data-bbox="638 1447 1473 1559">(3) 介護人材不足がますます懸念されます。現状と課題をどのように捉え、今後どのように対応していくか伺います。</p> <p data-bbox="638 1594 1473 1706">(4) 地域包括ケアシステムの現状と課題をどのように捉え、今後どのように充実させていくのか伺います。</p> <p data-bbox="638 1742 1473 1854">(5) 独居高齢者・高齢者世帯の現状と課題をどのように捉え今後どのように対応していくのか伺います。</p> <p data-bbox="638 1890 1473 2092">(6) 介護サービス量の増加で介護保険料増額も予測されます。第8期計画では基準額が前回の5400円です。「第9期那須塩原市高齢者福祉計画」における基準額を伺います。</p>